

人のぬくもりと
ふれあいが奏でる躍動のまち
丹波高原文化の郷●京丹波

広報 京丹波

KYOTAMBA

NO. 54

2010年4月15日発行

期待と不安を胸に
新たな旅立ちのとき



特集 予算



今月の表紙

3月12日、蒲生野中学校で行われた卒業式。卒業生たちは、恩師や在校生、保護者らからの祝福を受けて、3年間過ごした学び舎を巣立ち、新たな未来に向かって歩み始めました。(関連記事を20ページに掲載)

NO.54 CONTENTS

2 特集 予算

8 職員の配置

12 統合小学校の名称は「瑞穂小学校」に決定

14 暮らしのガイド

—後期高齢者医療制度に関するお知らせ
—町営バスの土曜日運行を開始しました

16 住宅用太陽光発電システム設置費の補助制度を開始します

17 Dr's Message いきいき健康術

18 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2010

JR京都一園部間が完全複線化

—山陰本線複線化開業記念式典

ALTが1日消防士を体験

—園部消防署1日消防士

若者が集い楽しむ音楽会

—ヤングミュージック祭

健康でいきいきとした生活を送るために

—健康講座

思い出を胸に学び舎巣立つ

—卒業・卒園式

親子が共に成長できる子育てを

—子育て講演会

平成22年度 予算

特集

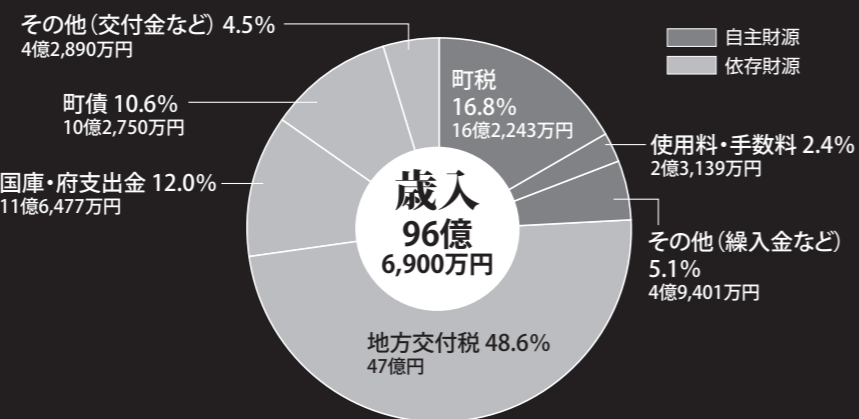
平成二十二年当初予算が三月の議会定例会で可決され、成立しました。予算総額は一七三億七、二九七万円(二万円未満四捨五入、以下同じ)。内訳は、一般会計が九六億六、九〇〇万円、特別会計が七七億三九七万円(財産区会計除く)です。

一般会計は前年度と比べて四億八、〇〇〇万円の減額。主な事業としては、町民の一体感や連帯感を醸成するための「町民憲章や町の花・木・鳥などの制定」をはじめ、住宅用太陽光発電システム設置を補助する「新エネルギー導入促進事業」、臨床研修医などに対する「医師確保奨学金制度の創設」のほか、丹波パーキングエリア企画調査事業、瑞穂地区小学校統合準備事業、子ども手当支給事業、ケーブルテレビ(CATV)拡張整備事業、協働のまちづくり事業などを盛り込んでいます。

【一般会計】

歳入

歳入には、町税など町が自らの力で収入できるお金(自主財源)と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の二四・三%で、残りの七五・七%は国・府支出金(負担・補助・委託金)や町債(借入金)などの依存財源に頼っている状況です。



歳入においては、特定財源の確保と地方債発行の抑制に留意するとともに、前年度の推移から見込める財源を計上しています。また、四年連続して財政調整基金(貯金)の取り崩しを抑え、将来的な財政需要に備えました。

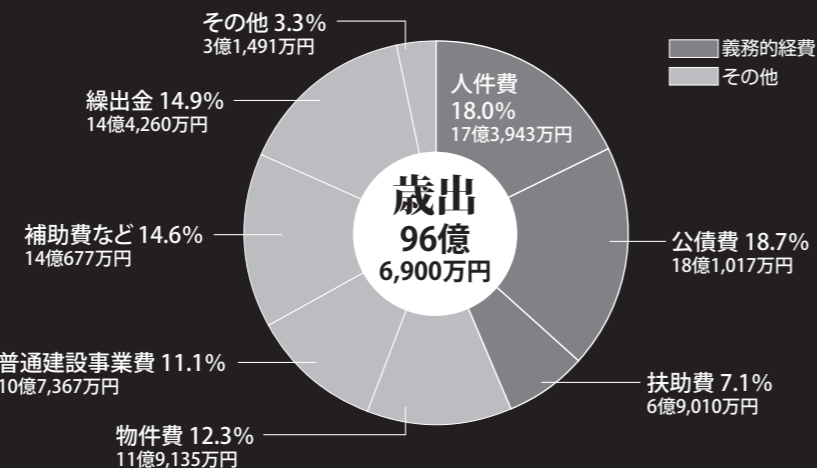
なお、そのほかの歳入はグラフのとおり見込んでいます。

【一般会計】

歳出

性質別

歳出のうち、人件費や扶助費(医療費助成などの経費)、公債費(町債の返済金)は「義務的経費」として支出が義務づけられています。本町では義務的経費が歳出全体の約四三・八%(グラフ参照)を占めており、依然として町の財政はゆとりのない状況にあります。



で、後年度の負担軽減に努めまして、

また、物件費は事務経費の精査に努めましたが、緊急雇用対策など国の施策に係る委託料の増加や学習支援等補助員の臨時賃金増加などにより、前年度に比べて一、六三九万円増額となっています。なお、事業内容の詳細は次ページのとおりです。

96億円をこう使う

農林水産業費 12億9,002万円

農業委員会の運営など	1,106万円
農業総務費(職員の給与など)	6,953万円
京野菜こだわり産地支援事業	940万円
中山間地域等直接支払事業	1億1,861万円
水田農業構造改革対策助成事業	2,096万円
農業公社運営補助	1,766万円
農地・水・環境保全向上対策事業	1,089万円
丹波食彩の工房管理運営委託	1,006万円
瑞穂マスターズ施設管理運営委託	517万円
有害鳥獣対策事業(防除施設設置事業補助)	2,770万円
その他農業振興に関する経費	3,480万円
鳥インフルエンザ対策に関する経費	88万円
畜産振興に関する経費	816万円
南丹地区農用地総合整備事業	5,524万円
農地保全事業	1,009万円
小規模農業基盤整備事業	1,198万円
下水道事業特別会計繰出金(農業集落排水事業)	2億2,253万円
その他農地保全などに関する経費	1,417万円
山村開発センターの管理運営	647万円
情報センター(丹波・京丹波町)の管理運営(職員給与など含む)	1億2,119万円
新山村振興等農林漁業特別対策事業	21万円
CATV拡張整備事業	3億2,423万円
林業総務費(職員給与など)	1,910万円
有害鳥獣捕獲事業	2,892万円
公有林整備事業	1,962万円
森林整備地域活動支援事業	2,511万円
森林管理道開設事業(和知地区才原一広瀬)	3,720万円
その他林業振興に関する経費	4,293万円
林業センターの管理運営	340万円
内水面漁業振興対策事業	274万円

すこやか子育て医療費助成事業	2,989万円
京都子育て支援医療助成事業	1,218万円
すこやか子育て祝金事業	800万円
その他子育て支援に関する経費	1,213万円
母子父子家庭医療事業など	934万円
子育て支援センター事業	394万円
保育所の運営管理(職員給与など含む)	3億1,223万円

労働費 2,488万円

緊急経済生活支援対策事業など	2,488万円
----------------	---------

衛生費 12億3,087万円

保健衛生総務費(職員給与など)	1億585万円
母子保健・健康増進事業	1,378万円
特定健康診査等事業	1,523万円
後期高齢者健康診査事業	709万円
その他保健事業に関する経費	4,449万円
予防接種事業	2,323万円
新型インフルエンザ対策事業	490万円
合併浄化槽設置整備事業	917万円
下水道事業特別会計繰出金(浄化槽市町村整備推進事業)	5,273万円
新エネルギー導入促進事業	102万円
その他環境衛生に関する経費	260万円
南丹病院組合負担金	1,544万円
京丹波町病院事業運営補助金	2億5,397万円
国民健康保険特別会計(診療所勘定)繰出金	5,190万円
医師確保奨学金事業など	210万円
保健センター管理事業	1,239万円
ごみ処理対策事業	299万円
船井郡衛生管理組合に関する経費	2億9,050万円
水道事業特別会計繰出金	3億2,152万円

情報化推進に関する経費	1,993万円
(地域イントラネット・インターネット運営など)	
国際交流推進事業(施設管理含む)	389万円
人権啓発・男女共同参画推進など	266万円
京都地方税機構負担金	1,471万円
税務に関する経費(職員給与など含む)	9,324万円
戸籍住民基本台帳管理に関する経費(職員給与など含む)	3,436万円
選挙管理委員会・選挙啓発事業	62万円
参議院議員通常選挙、京都府知事選挙の執行	2,573万円
各種統計調査に関する経費(国勢調査など)	620万円
監査委員会事業	60万円

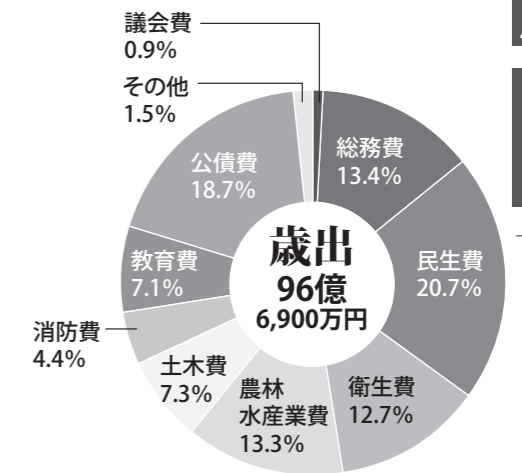
民生費 19億9,856万円

国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	9,251万円
社会福祉総務に関する経費	2億5,498万円
(在宅介護支援センター運営や職員給与など)	
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託	86万円
共同作業所入所訓練事業	2,052万円
重度心身障害老人健康管理事業	2,922万円
心身障害者医療事業	5,235万円
自立支援医療給付事業	1,856万円
障害者自立支援事業	2億3,047万円
地域生活支援事業	3,764万円
その他障害者福祉に関する経費	481万円
老人医療事業	3,382万円
シルバー人材センター事業	633万円
介護保険特別会計繰出金	2億9,372万円
在宅高齢者等生活支援事業	2,145万円
府後期高齢者医療広域連合事務事業	2億4,131万円
その他老人福祉に関する経費	1,661万円
国民年金事務に関する経費	74万円
子ども手当支給事業	2億3,784万円
児童手当支給事業	1,710万円

【一般会計】

歳出

目的別



議会費 8,825万円

議会運営に関する経費(議員報酬や職員給与など含む)	8,825万円
---------------------------	---------

総務費 12億9,637万円

電子入札事業	192万円
一般管理に関する経費(区長会運営や職員研修、職員給与など)	4億3,670万円
広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など	471万円
例規集管理事業	639万円
財政・会計・財産管理に関する経費(町有財産・庁舎管理、基金積立事業など)	3億1,893万円
JR山陰本線開通100周年記念助成事業	300万円
その他総合企画に関する経費	270万円
支所の管理に関する経費(支所管理や職員給与など)	1億8,313万円
公平委員会事業	5万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など	139万円
グリーンランドみずほ管理運営事業	3,176万円
町営バス運行事業特別会計繰出金	4,330万円
交通対策に関する経費(交通安全啓発や交通指導員活動、放置車両対策など)	410万円
自治振興補助金事業	60万円
協働のまちづくり事業	500万円
ホームページの運用管理	350万円
行政情報システムの運用管理など	4,725万円



有害鳥獣による被害を防ぐために、防除柵(金網・電気)の設置補助をはじめ、狩猟者の育成や捕獲の強化を行います。写真は、昨年度に設置された金網柵(八田地内)



町民の健康を守るために、健康診査やがん検診、健康相談などの保健事業を実施し、「安心のあるまちづくり」を推進します。写真は、巡回健康相談(塩田谷公民館)



住民自治組織などに対する交付金や、職員による支援体制を整え、活力ある地域づくりに努めます。写真は、地域力向上会議(長瀬公民館)

特別会計当初予算の概要

介護保険事業
事業勘定の歳入のうち、自主財源である保険料は二億六、二九八万円。主な歳出は、保険給付費に十七億一、三〇八万円、地域支援事業費に三、九六〇万円を計上しています。
また、サービス事業勘定では地域包括支援センターを拠点に介護予防支援事業を推進するための予算を計上し、老人保健施設サービス勘定では老健施設の運営や入所サービスの提供などを行う予算を見込んでいます。

後期高齢者医療
後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、広域連合に納付するための予算を計上しています。また、新規事業として、後期高齢者を対象とした人間ドック助成事業に一八八万円を計上しています。

老人保健
後期高齢者医療制度への移行に伴い、月遅れ請求や過誤分の医療給付費などに必要な予算を計上しています。

国民健康保険事業
事業勘定の歳入のうち、自主財源である国民健康保険税は四億一、八三三万円。主な歳出は、保険給付費に十二億一、九二二万円、後期高齢者支援金に二億四、二二二万円、特定健診などの保健事業費に三、七九九万円を計上しています。
診療所勘定では、和知診療所や和知歯科診療所の医療費などを見込んでいます。

水道事業
歳入のうち、使用料は四億九、〇五六万円。主な歳出は、水道事業に二億五、四九八万円、簡易水道事業に七、二三四万円、公債費の償還に六億二、七九六万円を計上しています。
なお、統合簡易水道整備事業は、丹波、瑞穂地区で八一%、和知地区で七一%の進捗よく（二十一年度末）を見込んでいます。

町営バス運行事業
児童・生徒の通学や町民の交通手段確保のための町営バス運行経費を計上しています。なお、本年度は新たに土曜日運行に係る経費を見込んでいます。

土地取得
土地開発公社からの先行取得用地買戻し経費を計上しています。

育英資金給付事業
育英資金の目的に基づいた給付金の支給経費を計上しています。

会計別当初予算額

会計名	本年度	前年度	比較
一般会計	96億6,900万円	101億4,900万円	△4億8,000万円
特別会計・企業会計	77億 397万円	76億1,616万円	△ 8,781万円
国民健康保険事業(事業勘定)	18億3,833万円	18億9,109万円	△ 5,276万円
国民健康保険事業(和知診療所)	2億3,370万円	3億3,720万円	△ 1億 350万円
国民健康保険事業(和知歯科診療所)	7,090万円	7,007万円	83万円
老人保健	934万円	2,271万円	△ 1,337万円
後期高齢者医療	1億8,581万円	1億9,385万円	△ 804万円
介護保険事業(事業勘定)	17億7,386万円	16億8,854万円	8,532万円
介護保険事業(サービス事業)	727万円	683万円	44万円
介護保険事業(老人保健施設サービス)	1億2,471万円	0万円	1億2,471万円
水道事業	12億 730万円	12億7,780万円	△ 7,050万円
下水道事業	11億3,900万円	10億2,300万円	1億1,600万円
町営バス運行事業	7,725万円	7,864万円	△ 139万円
土地取得	5,994万円	44万円	5,950万円
育英資金給付事業	389万円	360万円	29万円
国保京丹波町病院	9億7,267万円	10億2,239万円	△ 4,972万円

国保京丹波町病院事業
収益的収入・支出に八億五、三〇二万円を計上。収入のうち、入院や外来などの医療収益を七億一〇四万円見込んでいます。
病院建設事業債の償還が本格化し厳しい経営環境ですが、老朽化した医療機器の更新など、地域医療を担うために必要な予算を計上しています。なお、同病院の附属である質美診療所に係る予算も見込んでいます。

その他消防防災に関する経費……………121万円
消防施設整備事業(防火水槽、車両更新など)……8,058万円
防災・災害対策に関する経費……………636万円

教育費 6億8,635万円

教育委員活動事業……………167万円
学童保育事業……………1,240万円
教育委員会事務局一般経費……………1億4,235万円
(職員給与や学校指導主事設置など)
育英資金給付事業特別会計繰出金……………189万円
瑞穂地区小学校統合準備事業……………1,221万円
小学校の管理に関する経費……………1億1,952万円
(職員給与など含む)
小学校学習支援教員等配置事業……………910万円
その他小学校教育振興に関する経費……………3,013万円
中学校の管理に関する経費(職員給与など)……5,470万円
中学校教育振興に関する経費……………5,443万円
(中学生国際交流、スクールバス運行など)
幼稚園の管理運営に関する経費……………6,689万円
(職員給与など含む)
社会教育団体育成事業……………328万円
社会教育振興に関する経費……………858万円
(国民文化祭準備や成人式開催など)
公民館管理運営、図書館活動など……………3,587万円
文化財保護に関する経費……………169万円
体育団体育成事業……………420万円
社会体育振興に関する経費……………347万円
(生涯スポーツ振興や海洋センター活動など)
体育施設の維持管理に関する経費……………1,360万円
学校給食事業(職員給与など含む)……………1億1,038万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。



消防技術の向上と土気高揚を図り、地域防災体制を強化するために町消防団操法大会を実施します。写真は、平成20年度に開催した第1回大会の様子。

商工費 9,268万円

商工総務費(職員給与など)……………1,337万円
商工業振興事業……………2,327万円
企業誘致対策事業……………320万円
商工業振興に関する経費……………628万円
(消費生活行政や融資保証料補給事業など)
質志鐘乳洞公園の管理運営……………1,187万円
特産館「和」、わち山野草の森管理運営委託……2,500万円
農林業体験公園管理委託……………120万円
その他観光振興に関する経費……………850万円

土木費 7億469万円

土木総務費(職員給与など含む)……………7,338万円
道路台帳整備事業……………200万円
交通安全施設設置事業……………510万円
道路橋りょうの維持管理など……………3,353万円
道路新設改良事業……………1億9,310万円
河川維持管理・改良事業……………5,186万円
畑川ダム建設関連事業……………2,696万円
都市・国土利用計画に関する経費……………52万円
都市公園整備(須知)などに関する経費……………6,000万円
下水道事業特別会計繰出金……………2億3,955万円
(公共下水道事業)
町営住宅維持管理事業……………1,718万円
木造住宅耐震診断・改修事業……………152万円

消防費 4億2,174万円

京都中部広域消防組合負担金……………2億3,661万円
消防団活動運営事業……………7,901万円
消防施設の維持管理……………1,315万円
消防操法訓練大会事業……………482万円



安全な道路環境を目指して、町道の新設や改良工事を順次進めています。写真は、本年度に新設改良工事を計画している町道院内中央線(院内地内)

国保京丹波町病院

京丹波町和田大下28番地

医療政策課 ☎86-0220

【課長】藤田正則

【医療係長】(藤田正則)

正田智久

国保京丹波町病院 ☎86-0220

【院長】佐藤秀一郎

【事務長】(藤田正則)

【看護師長】石田由美子

【副院長】垣田秀治

【外科部長】前田武昌

【事務長補佐】中川 豊

【事務主任】豊嶋浩史・光枝三千代

原澤美和

【看護主任】平田千春・林 真紀・大西正美

【看護師】

細見友子・竹内和代・上田ひとみ・

上田武美・谷掛郁代・伏原幸子・

中村育美・田路利恵・西山由里・

谷口紀久恵・田中真由美・野村厚子・

小寺恵美・白波瀬小百合・小川和代・

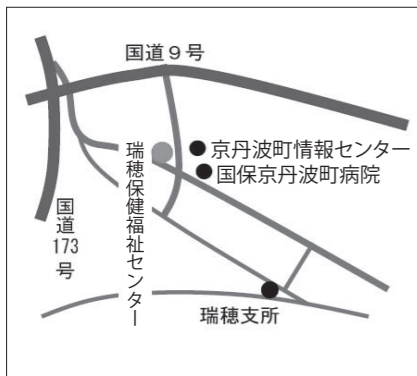
北村友美・片山比佐子・竹内美弥

【放射線技師】山内敏行

【薬剤師】松村陽子

【理学療法士】井爪直美

【管理栄養士】西垣公代



▲MAP

瑞穂保健福祉センター

国保京丹波町病院

京丹波町情報センター

瑞穂保健福祉センター

京丹波町和田中6番地1

保健福祉課 ☎86-1800

【課長】堂本光浩

【主幹】大槻澄子

【課長補佐】山鳥 強・古谷千津子・木下浩昭・山根美智代

【健康推進係長】上原美智子

【健康推進係主任】永海貴子・藤田むつみ

【福祉係長】(山根美智代)

【介護保険係長】徳島康善

【介護保険係主任】吉田敦美

【包括支援センター主任】井上祐子

野々口慶司・出野文隆・福本糸み子・村山奈央・小池由加里・山森要子・片山 哲(新規採用)

【栄養士】上林小百合

【保健師】

島田恵子・堀 道枝・西村美智子・

保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・

蓮見純子

京丹波町情報センター

京丹波町和田中15番地1

企画政策課情報推進室

☎88-5000

【室長】藤井雅文

【主任】原澤 恒

北村和正・田畑昭彦・西村公貴・

山内美幸・伴田裕章



Kyotamba Town

職員の配置

4月1日付け、人事異動を行い、職員の配置は次のとおりになりました。(嘱託職員など除く、敬称略)

京丹波町役場本庁

京丹波町蒲生八ツ谷62番地6 代表☎82-0200

土木建築課 ☎82-3806

【課長】十倉隆英

【課長補佐】榎川 諭・山内和浩

【管理係長】(榎川 諭)

【管理係主任】西野菜保子

【土木係長】(山内和浩)

【土木係主任】保田志信

【建築係長】十倉克也

【ダム推進係長】(十倉克也)

田尻 穂・荻野雅則・中村昭夫・

山下 徹・秋山卓弘

会計室 ☎82-3804

【会計管理者】岡本佐登美

【室長】川寫勇人

【出納係長】樹山敬子

坂本美佳子(新規採用)

中央公民館

京丹波町蒲生野口38番地

教育委員会社会教育課丹波分室

☎82-0988

【主任】山崎哲夫



▲MAP

京丹波町役場本庁／中央公民館

住民課 ☎82-3803

【課長】下伊豆かおり

【主幹】稲葉 出

【課長補佐】谷口 誠・西山民子

【戸籍住民係長】松下すみ子

【保険年金係長】岡本明美

【環境推進係長】(谷口 誠)

【人権推進係長】(西山民子)

吉田 正・保田利和・西村明美・

吉田 聡・上原康宏・豊嶋裕美・

島 文子・江本宗玄(新規採用)・

大西孝治(後期高齢者医療連合派遣)

産業振興課 ☎82-3808

【課長】久木寿一

【課長補佐】今西政治・栗林英治

【農林振興係長】(栗林英治)

【農林振興係主任】村田弘之

【農林事業係長】大西弘一

【農林事業係主任】井上晴之

【商工観光係長】四方晴美

【企業立地推進係長】山下 泰

西山直人・小原直也・下村邦喜・

小崎亮太・太田周人(新規採用)

■農業委員会事務局

【事務局長】(久木寿一)

【主任】山本桂市

(小崎亮太)

企画政策課 ☎82-3801

【課長】中尾達也

【主幹】藤田義幸

【企画係長】山田泰行

【広報広聴係長】(中尾達也)

【交通対策係長】小谷誠之

四方妃佐子・山内圭司・片山加奈・

真狩尚弥(新規採用)

■地域支援室

【室長】(藤田義幸)

【地域支援係長】片山 健

■バス事業所

三好 稔

税務課 ☎82-3802

【課長】一谷 寛

【主幹】福井彰一郎

【課長補佐】中井伸幸・

高畑利彦(地方税機構派遣)

【賦課係長】(中井伸幸)

【徴収係長】小山 潤

【主任】堀内浩二(地方税機構派遣)

伊藤康彦・山本美子・川勝千裕・

細野江梨子(地方税機構派遣)

議会事務局 ☎82-3805

【事務局長】長澤 誠

【庶務係長】上林潤子

石田武史

【参事】岩崎弘一(総務福祉担当)
野間広和(事業担当)

総務課 ☎82-3800

【課長】伴田邦雄

【課長補佐】岡本英子・松山征義・大西義弘

【総務係長】田中晋雄

【人事秘書係長】原澤 洋

【人事秘書係主任】太田創一

【財政係長】(松山征義)

【消防防災係長】中野竜二

水間和美・上西貴幸・堀 孝子・山内明宏・並河直樹・久保元真一・奥戸志帆・井口理恵(京都府派遣)

監理課 ☎82-3811

【課長】山田洋之

【総務契約係長】(山田洋之)

【指導検査係長】山内敏史

大秦 学

人の動き (敬称略)

教育長に朝子照夫氏

寺井行雄教育長が3月31日付けで退任し、新しく朝子照夫氏が教育委員に就任。4月1日に開かれた教育委員会臨時会で教育長に選任されました。



朝子照夫

【Profile】あさこ てるお
八木中学校長や東輝中学校長(亀岡市)、府学校教育課長などを歴任。実勢在住、62歳。

退職職員

(3月31日付、敬称略。()は前職)

- 田端耕喜 (参事)
- 腰山節子 (国保京丹波町病院薬局長)
- 野々口清仁 (企画情報課主査)
- 河谷勝治 (企画情報課主査)
- 石原範子 (国保京丹波町病院看護師)
- 片山長男 (和知支所主査)
- 友金久美子 (水道課主査)
- 羽生田真由 (会計課主事)

[京都府からの派遣終了職員]
松原武司(監理課主幹)

学校・保育園など

上豊田保育所 ☎82-2056

【所長】北村世津子
【所長補佐】谷 久美子
【主任】軽尾早苗
【保育士など】
前村こず枝・井上亜希子・大秦優子・岸本沙奈美・尾池奈緒美・中西靖浩・國領千紗子・新庄美和子・山崎愛紀(養護教諭、新規採用)

■下山分園 ☎83-0004

【園長】(北村世津子)
【主任】湊 直美
【保育士】野口加代里・細見ルミ

桧山保育所 ☎86-0574

【所長】津田知美
【所長補佐】東 直美
【主任】北村恵里子
【保育士】
山内里佳子・小室由紀・谷口絵理・今川奈未・矢田彰子・谷 麻美

わちエンジェル ☎84-1920

【所長】野村雅浩
【所長補佐】真野照美
【主任】山内幸子
【保育士】
越川憲子・佐々谷美穂・片山奈穂・久保元恵子

須知幼稚園 ☎82-0151

【園長】杉尾富美子
【教頭】西村喜代美
【主任】浦井美紀
【教諭など】
下村秀美・湊 玲奈・小林和子・山口利一・小森由佳梨・越浦宏美(養護教諭)

小中学校・給食センター

【丹波ひかり小学校】村山美智子
【桧山小学校】森下 満
【三ノ宮小学校】山田知恵子
【蒲生野中学校】和田 隆
【瑞穂中学校】北井邦江

【丹波給食センター】小林富美子
【和知給食センター】水口さき子

教育委員会

京丹波町本庄ウエ16番地(和知支所内)

教育委員会 ☎84-0028

【教育次長(参事)】谷 俊明

■学校教育課

【課長】(谷 俊明)
【主幹】松村康弘
【総務係長】橋本賢二
【学校教育係長】芦谷真由美

長谷川博文・堀 敬之・藤井知宝・山内善史

■社会教育課

【課長】山内善博
(兼B&G海洋センター所長)
【課長補佐】永武幸子
【社会教育係長】村山英紀
【文化財係長】(永武幸子)
【丹波分室主任】(山崎哲夫)
【瑞穂分室主任】(高屋敦彦)

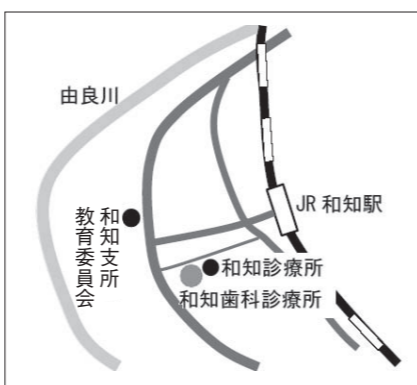
西田明範・山内秀文

和知歯科診療所

京丹波町本庄今福13番地

和知歯科診療所 ☎84-1154

【所長】坂下敦宏
【事務長】(中尾裕之)
【事務長補佐】(山田和志)
【医師】舟木 健
【主任】山口秀子
【歯科衛生士】片山昭子
【歯科技工士】堀 太



▲MAP
和知支所／教育委員会
和知診療所／和知歯科診療所

和知支所

京丹波町本庄ウエ16番地

和知支所 代表☎84-0200

【支所長】藤田 真
【支所長補佐】野間 隆
【主任】片山利枝・堀 友輔(地域支援担当)

梅原昇治・長谷川 真・片山晴子・山下 稔(地域支援担当)・小林篤史・山西博美

保健福祉課和知地域保健福祉室 ☎84-0049

【室長】谷口いづみ

原田結城

和知診療所

京丹波町本庄今福5番地

和知診療所 (介護療養型老人保健施設) ☎84-1112

【所長】中村泰也
【事務長】中尾裕之
【看護師長】米山栄一
【事務長補佐】山田和志

山口知哉

【看護主任】中村幸子
【看護師】
坂本 恵・竹内秀子・川勝里美・大西初美・大西好美・山内和子・山田加奈恵・貞守京子・片山亜紀

【放射線技師】諫本慶春
【理学療法士】大田有次
【薬剤師】村上康司
【介護支援専門員】安藝俊郎

瑞穂支所

京丹波町橋爪松山49番地

瑞穂支所 代表☎86-0150

【支所長】山森英二
【支所長補佐】上西睦美
【主任】谷口玲子・塩田 誠・山内智美

田中美智子・松谷洋二・西山宏明・小松聖人(地域支援担当)・岡本 淳(地域支援担当)

教育委員会社会教育課瑞穂分室 ☎86-1150

【主任】高屋敦彦



▲MAP
瑞穂支所

健康管理センター

京丹波町須知鍋倉1番地1

子育て支援課 ☎82-1394

【課長】山田由美子
【課長補佐】田中博典
【支援係長】石田美穂

【作業療法士】石原詩子

保健福祉課丹波地域保健福祉室 ☎82-1800

【室長】(大槻澄子)

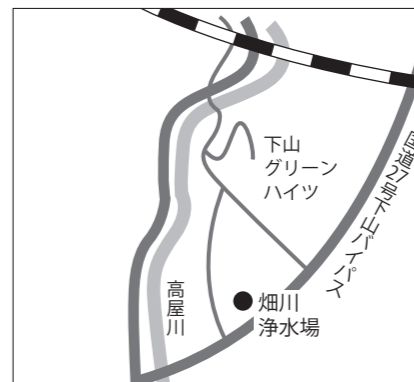
金江美和・友金輝幸



▲MAP
健康管理センター

畑川浄水場

京丹波町下山クラベシ41番地



▲MAP
畑川浄水場

水道課 ☎83-9105

【課長】木南哲也
【課長補佐】増谷隆男・竹内 健
【上水道係長(庶務担当)】(竹内 健)
【上水道係長(事業担当)】岩崎勝也
【下水道係長(庶務担当)】上林太志
【下水道係長(事業担当)】八木敏和

坂本 優・宇野浩史・梅原千里・松下由美・竹村 洋・吉田和晃・軽尾圭造・森田 亮

統合小学校の名称は

「瑞穂小学校」に決定

瑞穂地区統合小学校の名称は、地域のみなさんの思いや意見を反映するために公募し、瑞穂地区統合小学校準備委員会(島中克己委員長、委員十九人、以下「委員会」)での選考や町議会での議決を得て、「瑞穂小学校」に決定しました。今回、委員会での選考経過とともに、瑞穂小学校の方向性についてお知らせします。

「瑞穂小学校」に九十八点の応募

瑞穂地区統合小学校の名称は、児童・生徒を含めた町内在住・在勤の方を対象に公募し、できるだけ多くの方が応募できるように、教育委員会をはじめ、役場や支所、瑞穂地区の各小・中学校などに応募箱を設置。その結果、五歳〜九十四歳までの幅広い年齢層の方から三百七十八件の応募がありました。年代別に見ると、七十代が七十二人(一九・二%)、六十代が七十人(二八・五%)、十九歳以下が六十七人(一七・七%)と続いています。(表1)参照)

年代別集計表(表1)

年代	応募数	割合
19歳以下	67	17.7%
20代	8	2.1%
30代	23	6.1%
40代	25	6.6%
50代	56	14.8%
60代	70	18.5%
70代	72	19.1%
80歳以上	44	11.6%
記載なし	13	3.5%
計	378	—

応募校名一覧表(表2)

順位	応募校名	応募数	順位	応募校名	応募数
1	瑞穂	98		あさひ	2
2	みずほ	82		京みずほ	2
3	瑞穂かがやき	10		きらら	2
	瑞穂みのり	10		新瑞穂	2
4	明俊	9		瑞明(ずいめい)	2
5	かがやき	4	7	大志	2
	丹波みずほ	4		丹波瑞穂	2
	つづみ山	4		鼓山(つづみやま)	2
	みどり	4		なかよし	2
	つづみ	3		瑞希(みずき)	2
6	のぞみ	3		みずほわくわく	2
	瑞穂きらり	3		瑞穂中央	2
	瑞穂みらい	3		瑞穂ひびき	2
	みのり	3		みらい	2
	四つ葉	3		四ツ葉	2
	よつば	3		若葉	2
7	あけぼの	2			

※()内は読み方です。
※ほかにも応募数1件の校名が98点あります。

応募された校名の総数は百三十一点で、応募数の多い校名としては、「瑞穂」が九十八件、「みずほ」が八十二件、「瑞穂かがやき」と「瑞穂みのり」が十件、「明俊」が九件と続き、「瑞穂」と「みずほ」を合わせると約半数を占める結果となりました。(表2)参照)

なお、応募数が一番多かった「瑞穂」の命名理由の主なものは、次のとおりです。

「瑞穂小学校」の命名理由

- 瑞穂という素晴らしい名前を残したいから。
- 旧瑞穂町の小学校が一つになるため。
- 瑞穂しい稲の穂、そのままのイメージの美しい田園風景に恵まれた土地なので。
- 旧瑞穂町の歴史と伝統ある町名を永遠に残したいから。

委員会で選考会を実施

委員会は、応募された校名の中から統合小学校名を選考するために二回の会議を開催。一月二十七日の会議では、事務局(教育委員会)から応募状況などの報告を受けた後、選考方法などについての協議を行い、応募された校名の中から委員がそれぞれひとつの校名を推薦することで調整されました。

二月八日の会議では、各委員が推薦した校名に基づき慎重に審議が行われ、推薦の大半を占めた「瑞穂」と「みずほ」の二つの校名で二次選考を実施。二次選考では、委員が議論を交わした後、多数決を行い、「瑞穂」が「みずほ」を上回ったことから、委員会としての選考結果を「瑞穂小学校」としました。

なお、二次選考における委員の主な意見は次のとおりです。

二次選考での主な意見

- 漢字には「瑞穂しい稲穂」の意味があるので、意味がわかる名前が良い。
- 公募の結果を踏まえて漢字にしてはどうか。

● 中学校との一貫性や将来の連携を考えると漢字が良い。

● ひらがなの方が児童にやさしい名前でありよいと思う。

● 読みやすく、書きやすいのでひらがなが良い。

また、委員会の結果を受けて、町は平成二十二年第一回町議会定例会(三月五日―二十六日)で議案を提案し、可決されましたので、統合小学校名は「瑞穂小学校」に決定しました。

瑞穂小学校の方向性

平成二十三年四月一日開校を予定している瑞穂小学校は、次のような視点で建設を進めます。

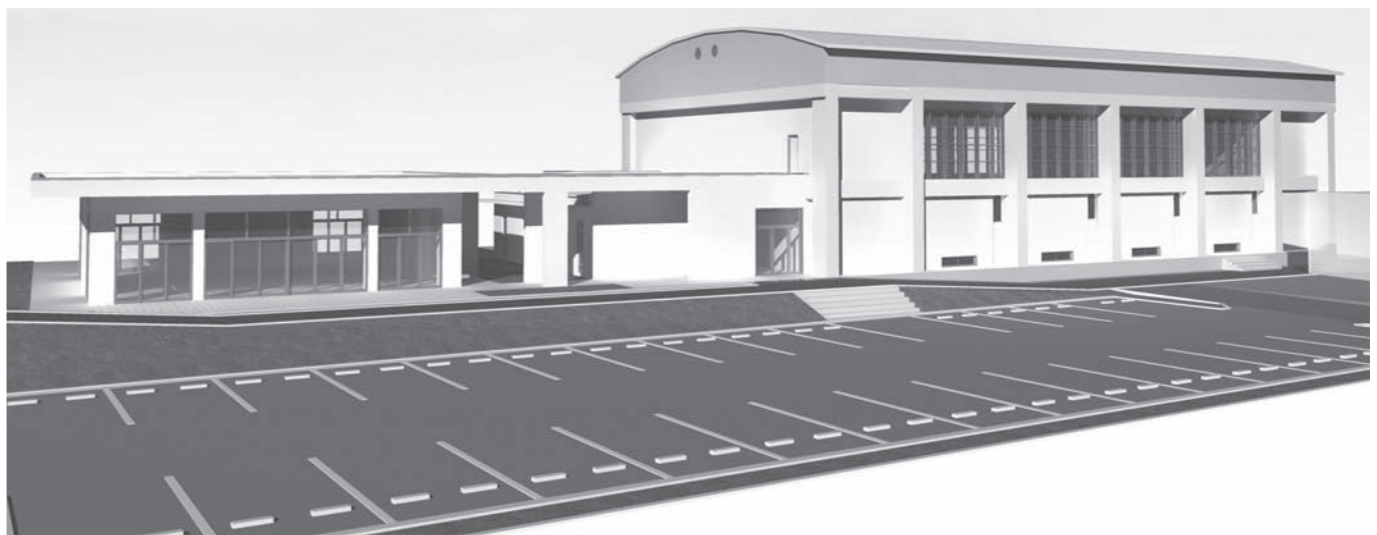
「ふるさとを愛し、
ともに学び子どもを育てます」

「高いこころざしと
たくましさをもつ
子どもを育てます」

*少子化が進む中であって、子どもたちがこの地域に育つことに喜びを感じ、多くの友と切磋琢磨することにより生まれる、人として大切な力が育つよう、大規模な施設整備と教育設備の充実を行い、よりよい新たな学校を目指しています。

施設整備の概要

同小学校の校舎は、耐震基準を満たしている現在の松山小学校を大規模改修し、体育館と多目的



改築を計画している体育館(右建物)と多目的ホール(左建物)のイメージ図

的ホールの改築を計画しています。なお、体育館は現状より広いアリーナを整備し、社会体育でも利用しやすい設備を目指しています。(改築部分は「イメージ図」参照)

整備予定は、本年六月―来年三月までを工期間とし、児童たちの学習環境に支障がないよう校舎の主要教室は夏休み期間中に整備するよう計画しています。

また、校舎などの施設整備は、次のことを基本としています。

①安全・安心な学校

- エレベーターの設置などによるバリアフリー化
- 明るく清潔な児童用のトイレ改修
- 不審者などの侵入を阻む設備
- ②多様な教育の展開が図れる学校
- ランチルームとしても活用できる多目的ホールの設置
- 校内LANによる情報機器の活用
- 特別教室などのリニューアル
- ③環境共生・省エネルギー・快適環境を考慮した学校
- 太陽光発電システムの設置
- 木のぬくもりが感じられる教室や廊下
- 暖かさを保つ窓ガラスなどの導入

【例】年金収入による年間保険料試算額(単身世帯の場合、年額)

年金収入80万円の場合		年金収入180万円の場合	
均等割額	4,061円	均等割額	32,488円
所得割額	0円	所得割額	10,719円
保険料年額	4,061円	保険料年額	43,207円

人間ドック助成事業を実施します

本年度から後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした人間ドック助成事業を実施します。

●対象者●①後期高齢者医療保険料を滞納していない方

②同一年度内に人間ドックや町の実施する住民健診を受診していない方

*人間ドックを希望される方は、住民健診を受診しないようご注意ください。

●助成額●人間ドックに要する経費の9割相当額

*ただし、脳ドックについては経費の10,000円を超える額。

●申込方法●後期高齢者医療被保険者証と印鑑をご持参の上、住民課または各支所へお申し込みください。

(必ず事前申込が必要です)



後期高齢者医療制度は当分の間継続されますが、今後新たな制度に移行することとなり、現在、国において新たな制度についての検討が進められています。

問い合わせ／住民課 ☎82—3803



町営バスの土曜日運行を開始しました

町民のみなさんの交通手段の確保および利便性の向上、保護者の負担軽減を目指して、4月1日から土曜日運行を開始しました。また、山陰本線(京都—園部間)複線化に伴うJR列車のダイヤ改正に対応するため、町営バスの時刻表を改正し利用しやすい運行体系に努めています。

多くのみなさんのご利用をお待ちしています。

※時刻表(4月1日改正分)は、「広報京丹波お知らせ版(臨時号)」を発行し、3月末に新聞折込で配布させていただきましたが、役場および各支所にも設置していますのでご利用ください。



問い合わせ／企画政策課 ☎82—3801



後期高齢者医療制度に関するお知らせ

平成22・23年度の保険料率が決まりました

後期高齢者医療の保険料率は、運営主体である後期高齢者医療広域連合が定めることになっており、2年ごとに見直しが行われます。今回、平成22・23年度の保険料率が決定しましたのでお知らせします。

【京丹波町の平成22・23年度の保険料(年額)】

保険料額は、均等割額と所得割額の合計額(「表1」参照)となり、本町の保険料率は次のとおりです。なお、保険料は被保険者一人おひとりに納めていただきます。

保険料率▶均等割額 40,610円／所得割率 7.94%

保険料額の算定式(表1)

$$\text{年間保険料 (限度額50万円)} = \text{均等割額 40,610円} + \text{所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額33万円) × 所得割率 7.94\%}$$

※「総所得金額等」は、収入額から控除額を差し引いた額です。(控除額とは、公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費のことであり、所得控除(社会保険料控除、扶養控除等)は含まれません)

【不均一保険料率について】

保険料率は同一都道府県内では均一が原則ですが、医療費が著しく低い市町村については、平成20年度から6年間、特例として低い保険料率が設定されます。本町はこれに該当するため、京都府の均一保険料率よりも低い保険料率が設定されています。

参考▶京都府の均一保険料率▶均等割額 44,410円／所得割率 8.68%

【保険料の軽減措置(平成21年度と同様)】

保険料額の算定では、所得の低い方は世帯(被保険者全員と世帯主)の所得に応じて均等割額が軽減(「表2」参照)されます。また、所得割額の算定において、総所得金額等から基礎控除額33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割額が5割軽減されます。

制度加入の前日まで会社の健康保険の被扶養者であった方は、当分の間、所得割額はかからず、均等割額が9割軽減されます。(国民健康保険や国保組合の加入者は該当しません)

※税法上の申告内容に基づき所得確認をしますので、軽減措置を受けるには申告義務がない方(障害・遺族年金などの受給者、被扶養者、所得のない方)であっても、所得の申告をしていただく必要があります。

均等割額の軽減割合(表2)

「総所得金額等」(被保険者+世帯主)が次の基準以下の世帯	軽減割合
基礎控除額(33万円)	9割*1 8.5割
基礎控除額(33万円) + 24.5万円 × 被保険者数(被保険者である世帯主を除く)	5割
基礎控除額(33万円) + 35万円 × 被保険者数	2割

*1 8.5割軽減対象の方のうち、世帯内の被保険者全員の各所得(年金所得は控除額を80万円として計算する)が0円である場合は9割軽減されます。

いきいき健康術 第32回

Dr's Message

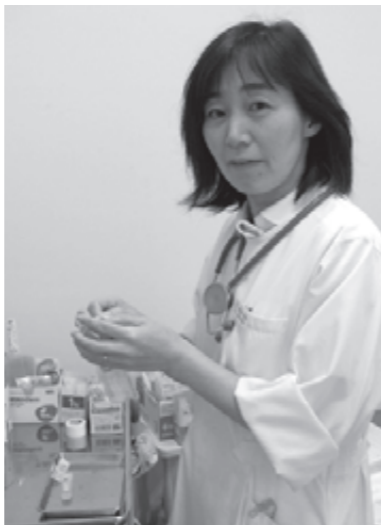
めまいの予防
めまいは、生活のリズムの乱れや、ストレスがたまること
起こりやすくなります。予防対策として次のことに心が
けましょう。

- ①【**回転性めまい**】急に発症し、吐き気や難聴などの
症状を伴います。多くは耳の異常が原因です。
- ②【**浮動性めまい**】急または徐々に症状が現れ、ふ
らつき感とともに、神経に関する症状(頭痛やし
びれなど)を伴うこともあります。多くは脳の
異常が原因です。
- ③【**平衡失調**】何もない平坦なところで転びやす
くなります。耳の病気や薬の副作用が原因です。
- ④【**立ちくらみのようなめまい**】ストレスや疲労、貧
血など血圧の変動に関わる病気が原因です。

めまいの対処法

突然のめまいのときは、楽な姿勢で横になり、安静にし
てください。そして、気持ち落ち着かせ、めまい発作の
ときに飲む薬がある場合はすぐに服用してください。た
だし、激しい頭痛や手足に力が入らない、舌がもつれるな
どの症状がある場合は、すぐに病院で受診してください。

- ①栄養バランスのとれた規則正しい食事をする。
- ②十分な睡眠をとる。
- ③気分転換を図りストレスの原因を減らす。
- ④アルコール(お酒)やカフェイン(コーヒー、緑茶
など)、タバコを控える。
- ⑤肩や首の筋肉のこりをなくし、血液の循環をよ
くする。



看護師主任 平田 千春さん
(京丹波町病院)

『めまいの予防』

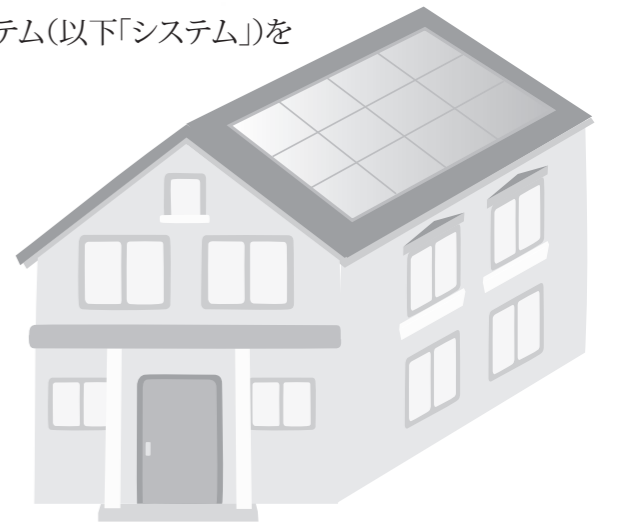
このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職
員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。
今回の担当は京丹波町病院の看護師主任 平田
千春さん。ふとしたときに起こる『めまい』について
お話です。

め まいは、平衡感覚をつかさどる耳(内耳)や運動機
能を左右する脳(小脳)などの異常によって起こ
ります。ほかにも、不安や心配ごと、ストレスなどの心因
性のもの、全身の病気(低血圧など)、脳の機能低下など
によって起こることがあります。

なお、めまいの種類としては次のとおりです。

住宅用太陽光発電システム 設置費の補助制度を開始します

町では、地球温暖化防止対策を積極的に推進し、環境への負荷が少ない自然エネ
ルギーの有効利用を促進するため、個人住宅に太陽光発電システム(以下「システム」)を
新設される方を対象に費用の一部を補助します。



太陽光発電システムとは…

太陽光発電は、太陽電池と呼ばれる装置を用いて、太陽の光エネ
ルギーを直接電気に変換するシステムです。エネルギーの大量消費による
地球温暖化などが問題となる中、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出
せず、地球環境にやさしい新エネルギーとして注目されています。

■対象者■

- 町内に住所を有し、自らが居住する町内の住宅に対
象システムを設置する方。
- 町税および水道料金など、町への納入金を滞納なく
納めている方。
- 電力会社と電力受給契約を締結している方。

■対象システム■

- 住宅の屋根などへの設置に適したシステムで、低圧
配電線と逆潮流有りで連系したもの。
- 太陽電池モジュール、架台、接続箱、直流側開閉器、イ
ンバータ、保護装置などで構成されたもの。
- 太陽電池の最大出力が10キロワット未満のもの。
- 未使用品のもの。(中古品は対象外)

■補助金額■

補助金の交付額は、出力1キロワット当たり3万円に
対象システムの最大出力値を乗じた額(千円未満切り
捨て)。ただし、12万円が上限となります。

■注意事項■

- 補助金は、新設のみが対象となります。
- 補助金の交付は、同一住宅について1回限りとなりま
す。
- 補助金は予算の範囲内とし、申請額が予算額に達し
た場合は、年度途中でも受付を終了します。

*その他にも要件がありますので、詳しくは次までお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ / 住民課 ☎82-3803

J R京都 園部間が完全複線化

■山陰本線複線化開業記念式典

三月十三日、JR山陰本線京都―園部間の複線化開業を記念した式典が園部駅ホームで行われました。

式典には、寺尾豊爾町長ら関係者が出席し、複線化開業を祝ったテープカットや、「祝 複線化開業」と記されたヘッドマークを付けた記念列車の発車式を実施。記念列車には関係者や集まった多くの人々が乗車し、南丹市のキャラクター「さくらちゃん」の合図で京都駅に向けて出発しました。また、複線化開業に伴い、亀岡駅や園部駅周辺ではさまざまな記念イベント



複線化開業を祝いテープカットを行う関係者(園部駅ホーム・南丹市)



さくらちゃんの合図で出発する記念列車

が行われ、多くの人々で新たな門出を祝いました。

複線化事業は、昭和五十四年の大臣認可を皮切りに、平成元年に嵯峨嵐山―馬堀間、平成十二年に二条―花園間を複線化し、平成十五年からは京都―二条、花園―嵯峨嵐山、馬堀―園部の三区間(計約二十二・八キロ)で工事を実施。今回、三区間の工事が完了したことで、京都―園部間が完全複線化しました。

完全複線化により、電車の行き違いによる待ち時間がなくなったことで京都―園部間の所要時間が四十五分短縮、朝夕のラッシュ時における快速電車の増便などが行われ、利便性の向上が図られました。

A LTが一日消防士を体験

■園部消防署一日消防士

園部消防署が三月一日、本町と南丹市の外国語指導助手(A.L.T)を一日消防士に委嘱し、丹波ひかり小学校で消防訓練を行いました。

この取り組みは、春季火災予防運動(三月一日―七日)の一環として行われ、教育機関で活躍するA.L.Tが消防業務の体験をすることで、消防に対する理解や認識を深めるとともに、火災予防の啓発を図ることを目的に実施。本町からは、アンタラミアン・メリンダ・ケイさんとカン・ジョエン・チャオアンス



避難訓練を見守るジョエンさん(右)とメリンダさん(右から2人目)

さんが消防士の制服や制帽などを身に付けて訓練に参加し、はしご車による救助体験や避難訓練の見学などを行い、緊急時における対応方法などを学びました。

若者が集い楽しむ音楽会

■ヤングミュージック祭

京都府中部文化芸術祭「ヤングミュージック祭」が三月十四日、山村開発センターみずほで開催され、町内外から約五十人が参加しました。

同祭は、若者の集まる場所に活気が生まれるとの考えから、若者が集い楽しむような音楽会を開催し、中部地域を活性化ある町にすることを目的に実施。同祭りには、町内出身ミュージシャンの村上



ステージで演奏する村上さん(山村開発センターみずほ・大朴)

健康でいきいきとした生活を送るために

■健康講座

「心も体もいきいきと」をメインテーマとした健康講座を、「体」「心」「食」「楽」の部門別に四回シリーズで開催しました。

第一講座は、二月二日に町中央公民館で開催し、約四十人が参加。「体」をテーマに、丹波笠次病院の作業療法士・小室雅紀さんが「生活から自分に合った運動を知ろう」と題して講演し、参加者の体のゆがみや衰えを調べるテストを実演しながら、「無理をせずに普段から体に合った運動を行うことが大切」と話されました。

第二講座は、二月二十四日に町中央公民館で開催し、約三十人が



第1講座で実演を交えて講演する小室さん(町中央公民館・蒲生)



第2講座で石原さんの講演を聞く参加者(町中央公民館・蒲生)

参加。「心」をテーマに、京都府南丹保健所の精神保健福祉相談員・石原智さんが「心の健康について」と題して講演し、「心と体は密接に関わっており、ストレス状態になると、体調不良や異常行動を引き起こす原因になる。ストレスと感ずるか、楽しく感じるかは気の持ちようなので、一人で悩まずに誰かに相談し、何事も前向きに考えてください」と話されました。

第三講座は、三月十日に和知ふれあいセンターで開催し、約二十人が参加。「食」をテーマに、町社会教育委員の白樺貢さんが「からだ思いの食生活」と題して講演し、「欧米型の食生活が進むことによ



第3講座で講演する白樺さん(和知ふれあいセンター・本庄)

て栄養バランスがくずれてきている。米や緑黄色野菜、魚を中心とした日本の食文化はエネルギー比率の理想的な食事なので、健康を守るためにも食生活を見直してください」と話されました。また、この日は、食生活改善推進員による簡単な野菜料理の試食やパネル展示による活動紹介も行われました。

第四講座は、三月十五日に山村開発センターみずほで開催し、約二十人が参加。「楽」をテーマに、京都府レクリエーション協会のインストラクター・江見君子さんが「楽しく体を動かしましょう」と題して講演し、輪ゴムやロープを使った簡単なレクリエーション方法などを



第4講座でロープを使ったレクリエーションを楽しむ参加者(山村開発センターみずほ・大朴)

コミュニケーションをとりながら楽しく体を動かすことの大切さを参加者に伝えました。

わたしたちの町

人口	16,840(-61)
男	7,962(-40)
女	8,878(-21)
世帯数	6,479(-5)
4月1日現在/()は前月比	

思い出を胸に学び舎巣立つ

■卒業・卒園式

三月十二日、町立中学校の卒業式が各校で行われ、卒業生百八十四人が学校生活の思い出を胸に学び舎を巣立ちました。

蒲生野中学校の卒業式では、中藤昌明校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された後、在校生代表の桐野智哉さんが「先輩方がクラブ活動などで活躍する姿はわたしたちのあこがれでした。自分を信じ、希望にあふれる世界に足を踏み出していつてくください」と送辞を述べました。続いて、卒業生

代表の上田伸斗さんが「それぞれ違う道を進みますが、どんな困難にも立ち向かい、後悔しないようにがんばっていきます。在校生のみなさん、今まで以上に良い蒲生野中学校を築いてください」と答辞を述べました。

三月二十三日には、町立小学校の卒業式が各校で行われ計百八十九人が卒業。また、三月十八日に須知幼稚園で二十九人、三月二十五日には町内の各保育所で計七十九人が卒園しました。



卒業証書を受け取る卒業生(蒲生野中学校・蒲生)

親子が共に成長できる子育てを

■子育て講演会

子育て講演会が三月十九日、瑞穂保健福祉センターで行われ、子育て中の母親ら約三十人が参加しました。

講演会は、子育てに関する疑問や悩みの解消、子どもの健やかな成長の支援など、子育て支援の一環として実施。講演会では、種智院大学教授で臨床心理士の萩尾藤江先生による「子育て？親育て？」と題した講演や、長岡京市で療育への活

動を展開する「NPOこらぼネット」の保育士による音楽療法を交えた遊び体験などを行いました。

講演の中で萩尾先生は、「赤ちゃんは親や多くの人に愛され守ってもらうためにかわりいらしく微笑み、伝えたいことがあるれば泣き声で伝えます。誰でもいきなり親にはなれないので、親子のふれあいを大切に、愛情を育くみながら親子が共に成長できるように子育てをしてください」と話されました。



音楽に合わせたシャボン玉遊びを体験する参加者(瑞穂保健福祉センター・和田)



卒園式で元気いっぱい唱歌う卒園児(松山保育所・和田)



お別れの言葉を述べる卒業生(和知小学校・本庄)

編集後記

新年度がスタートし、組織の一部改編や人事異動により職員の配置などが変わりましたが、広報担当は編集子が引き続きお世話になることになりました。よりよい広報紙を目指して、今月号から紙面を模様替えし、気持ちを新たにがんばっていきますので、これからも広報活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(K)